

[新規分野の概況]

ACE事業部

可能性の広がるTHKの免震・制震技術

ACE (Amenity Creation Engineering) 事業部は、2001年の発足以来、「快適さを求め、独創的な生活空間を、技術開発していきこう」をコンセプトに、THK独自の「ころがり」化技術を活かし、地震の脅威から人々の生命や財産を守る免震・制震装置を開発・販売するとともに、ホームオートメーション関連機器への採用の増加にも取り組んでいます。

THKの免震・制震装置の特長は、LMガイド、ボールねじ等のTHKの基本技術を応用することで、高層ビルから戸建住宅、社寺建築等の歴史的な構造物まで、様々な建築物に十分な効果を発揮できる幅広い製品ラインナップを揃えていることです。

また近年、企業のBCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) に対する意識が高まる中、THKは独自の免震・制震技術のノウハウを応用し、PCやサーバーなどの事業資産を地震の被害から守る免震テーブルを販売しています。この免震テーブルは既存の製品に比べ、地震が発生した際に、ねじれや浮き上がりの無い安定した動きをする高性能な製品となっています。

2009年度については、引き続き採用数の増加に向けて、住宅関連の展示会場などで免震体験車を導入した積極的なPR活動を展開しました。その他、企業向けのサーバー用免震テーブルでは、THK製品の優位性を強調した積極的な販売活動を実施しました。

その結果、THK独自のころがり化技術を採用した免震装置ならびに制震装置の知名度が上がり、採用実績を着実に増加させることができました。



BCP 関連製品のニーズ拡大と普及・販売活動の強化

世の中での災害対策に対する意識が高まる中、免震・制震装置の需要は長期的に増加していくものと考えられます。ACE事業部では需要を取り込むべく、引き続き設計事務所やハウスメーカーなどにTHKの免震・制震技術の優位性をPRしていきます。また、一般消費者の方々に対しても、免震・制震装置導入の重要性やTHKの優れた技術・製品をご理解いただくため、従来のセミナー開催等の普及活動に加え、免震体験車をさらに有効活用した販促活動を実施していきます。加えて、企業のBCPに関するニーズが一段と高まる環境のもと、サーバー免震や機器免震などの“部分免震”の拡販にも注力していきます。



FAI事業部

輸送用機器関連事業の収益拡大に向けて

FAI(Future Automotive Industry)事業部は、THK 製品の自動車部品としての採用拡大を目的に1999年に発足しました。同事業の主力製品であるアルミダイカスト一体成形のリンクボールは、従来のスチール製に比べ軽量ながら高い耐食性、耐摩耗性を実現しています。燃費の向上が求められる中で、国内外の大手自動車メーカーから高い評価を受けています。

また、2007年には、優れた鍛造技術を持つ株式会社リズムを連結子会社化しました。現在、FAI事業部ではリズムを加え、輸送用機器関連事業として一体となった事業展開を図っています。リズムとのさらなるシナジーを追求し、世界の自動車市場の変化に対して、迅速かつ的確に対応することで、存在感のあるサプライヤーとなることを目指しています。

リズムとのシナジーの追求

輸送用機器関連事業を取り巻く環境としては、中長期的には自動車の生産地域の拡大と新興市場での需要の増大が見込まれます。また、世界的な環境保全ニーズの高まりとともに、自動車の軽量化、省エネルギー化がますます進んでいくことが考えられ、ハイブリッド自動車や電気自動車の普及が進んでいくことが予想されます。こうした中で、採用数の一層の増加に向け、リズムとの相乗効果をさらに高めるべく取り組んでいます。

これまでの具体的な成果として、【管理面】では、管理機能をリズム本社に集約したことで、従来より多くの受注を少ない人員で対応することが可能となり、採用拡大のスピードを高める体制を構築することができました。【販売面】では、国内外の完成車メーカーとの取引があるTHKの販路を活かしたリズム製品の提案を実施しました。その結果、現在では引き合いが増



加し今後の受注増への足がかりを作ることができています。また、海外における支店の統合やスタッフの連携強化等も図っています。【生産面】では、リズムの本社工場(浜松)と中国工場(広州)でTHK製品であるリンクボールの生産を開始しました。LMガイドのトップメーカーであるTHKの持つ高い生産技術力に加え、自動車部品メーカーのリズムならではの生産管理手法などによって、よりコスト競争力のある生産が可能になりました。【技術面】では、リズム、THKの技術交流を促進すべく分科会を設置しました。ここでは、リズムが持つ鍛造技術をTHKのコア製品であるLMガイドの生産へ応用させるなど、今後、民生品分野での採用拡大に向けて、LMガイドのコスト競争力を高める活動を実施しています。

このように管理、販売、生産、技術、それぞれにおいてリズムとTHKのシナジーは顕在化しています。加えて、2010年6月には、連携をより一層強化すべく、リズムの商号を「株式会社リズム」から「THKリズム株式会社」に変更しています。今後もシナジーの顕在化に向けた取り組みをより加速させることで、輸送用機器分野における収益性を向上させるとともに、LMガイドの採用の増加を図っていきます。



IMT事業部

コンポーネンツ・ビジネスへの躍進

IMT (Innovation Mechatronics Technology) 事業部は、2009年6月に、今後大きな市場の拡大が見込まれる電動アクチュエータ事業と、THKグループのユニット品事業の拡大を目的として創設されました。THKの研究開発の中心である東京都大田区のテクノセンターを拠点として、製品企画・営業サポート・技術サービス・設計業務・技術情報の集約や生産管理などを行っています。

近年、半導体製造装置や液晶製造装置などの産業用機械において、高精度化や短納期化といったニーズが高まっていることから、機械要素部品においても単品から複合品へと製品ニーズが移り変わっています。また、今後は産業用機械のみならず、生産ラインなどにおける電動化の一段の進展も見込まれています。

電動アクチュエータ、 ユニット製品の採用拡大に向けて

こうした事業環境の中、IMT事業部は、THKの持つ「独創的な発想と独自の技術」を活かして、市場開拓に取り組んでいきます。まずは産業用機械への電動アクチュエータおよびユニット製品の採用拡大を図っていきます。さらに、生産ラインにおいて、エネルギー効率の飛躍的な改善と自由度の高い制御を可能にする電動アクチュエータを積極的に拡販していきます。また、フィットネス機器や介護機器などの生活環境機器分野においても多様な需要が存在していると考えています。IMT事業部では、こうした需要を顕在化して収益拡大に繋げられるよう、各種用途に合わせた多種多様な電動アクチュエータを積極的に開発し、市場の開拓を図っていきます。

さらにTHKでは将来の収益の柱を築くべく、5年先、10年先を見据えた長期的な観点から、ヒューマノイドロボットの開発にも取り組んでいきます。

電動アクチュエータシリーズ



エコノミーシリーズ



コンパクトシリーズ



ユニバーサルシリーズ



スーパーFAシリーズ



クリーンシリーズ



リニアモータシリーズ